

## 1 学校教育目標

- 学 ぶ      ○ 鍛える      ○ 思いやる

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	「安心」・「安全」・「安定」した学校。 ○生徒が学びたくなる学校、さらに安全で自分を成長させてくれる学校。 ○保護者が子どもを通わせたい学校、そして子どもを理解し成長させてくれる学校。 ○地域の学校として誇れる学校、あの学校で教えてもらったなら安心だと実感できる学校。
○児童・生徒像	「自己を鍛えよ」（常に頑張る時は今） ○希望をもって自ら学び、根気強く学習する生徒。 ○自ら正しく判断し、行動できる生徒。 ○自他を大切にし、仲良く協力でき、奉仕できる生徒。 ○礼儀を重んじ、あいさつ・返事のできる、明るい生徒。 ○目上の人に対し、畏敬の念をもって接する生徒。
○教師像	「常に一步前進し、尊敬される教師」 ○生徒を愛情をもって、厳しく鍛えることのできる教師。 ○専門職（教育のプロ）として力量を常に高める教師。 ○教育公務員として自覚と誇りをもち地域、保護者、生徒から尊敬される教師。

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### <学校の現状>

学校について [よさ]	・落ち着いた学校生活の中で、生徒が活発に活動できるようになってきた。 ・地域の学校として、学校と地域が密接に連携しながら教育活動を進めている。
[課題]	・落ち着いてきた現在の学校に満足することなく、学力の向上を図り、生徒に自信と誇りを持たせること。
生徒について [よさ]	・純朴で素直である。      ・行事や部活動では意欲的に活動する。
[課題]	・学習意欲を高め、学力の向上を図ること。      ・基本的生活習慣の確立を図ること。
教師について [よさ]	・生徒一人一人を大切に、粘り強く、丁寧に、決して諦めることなく、時間をかけて全ての教育活動に取り組んでいる。
[課題]	・教科指導・学力向上への取り組みを通じた、落ち着いた学校づくりへの意識改革が必要である。      ・課題解決に当たり、より組織的な対応が必要である。
保護者・地域について [よさ]	・全体的にみれば、学校の教育活動には協力的である。
[課題]	・「子どもの教育の最終責任者は親である」という意識が不足している保護者が多くみられる。

### <前年度の成果と課題>

「落ち着いた学校」と「学力向上」の2本の柱で学校運営に努めていく。そして生徒に自信と誇りを持たせることが必要である。

不登校生徒を減少させ、保護者、関係諸機関との連携を一層強めるとともに、生徒理解に努める。また、教師の資質向上のために、ブロック研修会・OJT方式による授業参観・小中連携（交流会）をより充実させ指導力を高め、授業の中で生徒に充実感や達成感を与え、生徒の学習意欲を喚起させる。

心豊かな生徒の育成として、ボランティア活動にも力を入れ、指導していく。

## 4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		21	22	23	24	25
1	生徒の基礎的・基本的な学力の向上を図る	○	○	○	○	○
2	教師の授業力の向上と信頼される教師	○	○	○	○	○
3	学校、家庭、地域による協働の推進	○	○	○	○	○

## 5 平成23年度の重点目標

<b>重点的な取組事項－1</b>	生徒の基礎的・基本的な学力の向上を図る
-------------------	---------------------

<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
学力向上に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む		生徒に実力と自信を身に付けさせる
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>		
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>
長期休業中の補充教室の充実	長期休業中の補充教室に10日間実施する。	全学年で夏季、冬季、春季で実施し、苦手教科の克服に努める。 部活動顧問にも学力向上に向けて、生徒に支援する。
家庭学習時間の拡大の定着	「スクールライフ」を毎日提出させる。	生徒が使用している、「スクールライフ」を活用し、提出・確認する。 考査前には学習計画書を提出させる。
朝学習の取り組みの充実	朝読書を毎朝10分間通年で実施する。 学習委員会を活用する。	1年間読書数30冊を努力目標とする。 考査前に学習委員会、各教科係と協力し、予想問題を作成し、考査に備える。

<b>重点的な取組事項－2</b>	教師の授業力の向上と信頼される教師
-------------------	-------------------

<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
教員相互の授業観察を通して教師の授業力の向上に努める。		個に応じた指導の推進と「わかる授業」の実践。
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>		
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>
教員相互の授業観察の充実	OJT方式による授業参観を「授業参観週間」として、年間2回する。	若手教員とベテラン教員をセットにした体制を作り、あらゆる面で伝え合う、学び合う組織集団とする。
研究授業の充実	小中連携、外部講師による授業、教科別授業研究の充実 ライフスキル教育資格取得	小学校との連携事業を年間2回、ゲストティーチャーによる授業、ブロック中学校研究協議会を開催する。 ライフスキル教育の授業公開を実施する。
小学校と中学校による合同体験活動の充実	足立区こども元気基金を活用し、4月から12月までの間に理科の楽しさを体験させる	小学生に理科実験・実習の楽しさを体験・経験させ、中学生に助手を担わせることで、理科の興味・関心を高める

<b>重点的な取組事項－3</b>	学校、家庭、地域による協働の推進
-------------------	------------------

<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
保護者・地域の学校行事等への参加者数を増やす		保護者・地域の学校行事等の来校数を前年度より10%増やす。
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>		
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>
地域との協働によるキャリア教育の実施	3年生、卒業生のお話を聞く会。 2年生、職場体験3日間。 1年生、職業人の話を聞く会。	「開かれた学校づくり協議会」「十三の会」に協力を依頼して、実施する。
学校、地域におけるボランティア活動等の機会の充実	一人一回のボランティア活動の実践。	全校地域清掃、長期休業中の校内整備、あいさつ運動、あしの芽祭に参加する。
ホームページや学校だより等による広報活動の充実	ホームページの更新、学校だよりの発行を月1回以上	ホームページや学校だより等の広報活動を充実させ、生徒の活躍や様子を保護者・地域に知らせ、学校教育に対する関心を高める。

